

国内留学の報告

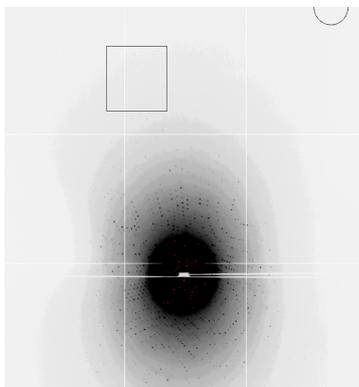
蛋白質研究所超分子構造解析学研究系

D1 東浦彰史

2006年12月8日から9日にかけて、つくばの高エネルギー加速器研究機構のビームライン BL5A において、X線回折強度実験とその回折強度データの解析を行った。ビームライン BL5A は大きな CCD カメラを検出器としたビームラインであり、高分解能でのX線回折強度データ収集に非常に有利であった。約12時間のビームタイムにおいて、目的としていた回折強度データの収集を行うことができ、非常に有意義な実験を行うことができた。

2006年12月11日から12日にかけてつくば国際会議場で行われた、特定領域研究「生体超分子構造」第3回公開シンポジウムに参加した。生体超分子に関する様々な研究に関する講演やポスター発表を多数見ることができた。また、国外からの研究者の講演もあり非常に勉強になった。これらの講演などから、今後の研究に役に立つ情報を多く見出すことができた。

このような有意義な実験とシンポジウムへの参加を支援していただきありがとうございました。



BL5A で得られたX線回折像